

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-変2-工-A-07-0001 改4
提出年月日	2023年7月20日
【凡例】 : 前回ヒアリング資料からの変更箇所	

非常用ガス処理系主要弁 要目表

2023年7月

東北電力株式会社

- (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
 a. 非常用ガス処理系
 × 主要弁（常設）

		変 更 前		変 更 後	
名	称	T46-F001A, B			
種	類	止め弁			
最 高 使 用 圧 力	kPa	13.7 ^{*2} , -23.5 ^{*3} <small>*1</small>		変更なし	
最 高 使 用 温 度	℃	100			
主 要 寸 法	呼 び 径	300A			
	弁 箱 厚 さ	[]		[] ^{*4}	
	弁 ふ た 厚 さ	[] ^{*4}			
材 料	弁 箱	SCPH2			
	弁 ふ た	S25C ^{*5}			
駆 動 方 法		空気作動			
個 数		2			
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	T46-F001A 非常用ガス処理系A系	T46-F001B 非常用ガス処理系B系	変更なし	
	設 置 床	原子炉建屋 O. P. 33. 20m			
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「-23.5～13.7」と記載。

*2：主蒸気管破断事故時において非常用ガス処理系排風機起動前に原子炉棟内の圧力が正圧として作用することを考慮した場合の圧力の最大値を示す。

*3：主蒸気管破断事故時において非常用ガス処理系排風機起動後に原子炉棟内の圧力及び非常用ガス処理系排風機締切静圧が負圧として作用することを考慮した場合の圧力の最大値を示す。

*4：設計確認値を示す。

*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

		変 更 前		変 更 後	
名 称		T46-F003A, B		変更なし	
種 類	—	止め弁			
最 高 使 用 圧 力	kPa	23.5			
最 高 使 用 温 度	℃	140			
主 要 寸 法	呼 び 径	—	300A		
	弁 箱 厚 さ	mm	□		
	弁 ふ た 厚 さ	mm	□*2		
材 料	弁 箱	—	SCPH2		
	弁 ふ た	—	S25C*2		
駆 動 方 法		—		電気作動	
個 数		—		2	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	T46-F003A 非常用ガス処理系A系	T46-F003B 非常用ガス処理系B系	変更なし
	設 置 床	—	原子炉建屋 O. P. 22. 50m	原子炉建屋 O. P. 22. 50m	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	R-2F-1-1		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	床上0. 13m以上		

注記*1 : 設計確認値を示す。

*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。